

教科目名 日本語 (Japanese)

学科名・学年：留学生 3年

単位数など：4単位(前期2コマ、後期2コマ、学習保証時間90時間)

担当教員：那須里美

授業の概要			
言語の「話す」「聴く」「読む」「書く」という4技能のうち、前期は「話す」「聴く」「読む」力を高めると共に、能力試験対策を始める。能力試験後、4技能の総合的強化をはかり、小論文作成への基礎知識、技術を指導する。			
達成目標と評価方法			大分高専目標(C1)
(1)コミュニケーション能力のアップ(授業内における問答) (2)2級レベル漢字1000、語彙6000、文法約400習得(課題、小テスト、定期試験) (3)読解力のアップ(授業内、定期試験) (4)日本語作文の基本ルール習得から、分野別文章作成の練習(課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	学生の4技能習熟度チェック	中級の読み物を早く確実に読み取る。 発せられた後、瞬時に消えていく音声を一度で聞き取れるようにする。	【理解の度合い】
2~12	中級(中期)程度の読み物や音声教材で学習後、そのテーマの要旨やテーマにおける意見を述べる。	相手に伝わるように話す。苦手な音の克服	
13	能力試験2級レベルの漢字、語彙、文法導入。文章表現の基礎。復習	漢字350、語彙2000、表現文型150習得。 文体、助詞、首尾一貫、句読点などの基本ルール。	
14	前期中間試験		【試験の点数】 点
15	前期中間試験の解答と解説	中級(後半)の読み物を早く確実に読み取る。 的確な副詞・形容詞を使って更に具体的に表現できる。	【理解の度合い】
16~27	中級程度の読み物や音声教材で学習後、そのテーマについてのディスカッション。	漢字800、語彙4500、表現文型300習得	
28	能力試験2級レベルの漢字、語彙、文法導入。復習		
29	前期期末試験		【試験の点数】 点
30	前期期末試験の解答と解説	中上級の読み物を早く確実に読み取る。より自然な日本語で意見を述べる。	【理解の度合い】
31~42	中上級読解問題解答後、そのテーマについてのディスカッション。	11月中旬までに漢字1000、語彙6000、文法400習得。 2級レベル70%以上の解答率を目指す。 作文：「段落構成」「説明文」	
43	能力試験総合対策。能力試験終了後、論理的な文章の書き方。復習		
44	後期中間試験	(能力試験模試として行う)	【試験の点数】 点
45~57	授業前半、中上級読解問題解答後、そのテーマについてのディスカッション。	中上級レベルの読み物(生教材含む)の内容把握と口頭説明	【理解の度合い】
58	復習	作文：「歴史的経過」「分類」「定義」	
59	後期期末試験		【試験の点数】 点
60	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	基礎となる初級レベルの語彙(漢字を含む)、文法が確実に習得できているか。できていない学生がいた場合、課題を与える等の方法によって、早期にそのレベルに達するようにする。漢字、語彙に関しては夏休みの課題としても扱う。		【総合達成度】
教科書	ニューアプローチ中上級日本語(日本語研究社)、留学生のための論理的な文章の書き方(スリーエーネットワーク)、どんな時どう使う表現文型500(アルク)、その他日本語能力試験関係		
参考図書	新聞		
関連科目			
総合	(4回の定期試験1:2:3:4)×0.7+(課題)×0.3 総合評価が60点以上を合格とする。 欠席はコミュニケーション能力の養成をしなかったとみなす。		【総合評価】 点